

# 第 49 回海外投融資委員会議事要旨

## 1. 日時

2017 年 3 月 30 日（木） 16 : 30～18 : 30

## 2. 場所

国際協力機構本部 6 階役員会議室

## 3. 出席者

（海外投融資委員会委員）

小川委員長、長島副委員長、赤羽委員、荒木委員、川口委員、小木曾委員、柴田委員

## 4. 議事・報告

1. （審議事項）「カンボジア王国シハヌークビル港整備事業」審査後審議
2. （審議事項）「フィリピン共和国マニラ首都圏西地区上水道無収水対策事業」審査後審議

## 5. 議事の要旨

1. （審議事項）「カンボジア王国シハヌークビル港整備事業」審査後審議  
事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。
  - ・ 本事業は、シハヌークビル港において、株式公開による増資で調達した資金を活用し、クレーンの増設やオフドックヤードの整備を行うもの。同港の貨物取扱量を向上させることにより、物流機能の強化を図り、もってカンボジアの貿易促進に寄与する、開発効果の高い事業である。
  - ・ 同港は日本が長年に亘り支援を継続してきた案件であり、戦略的要衝である同港において日本のプレゼンスを保持することの外交的重要性に鑑み、株式公開にあたって同港の経営に参画するために、日本・JICA が海外投融資により支援する妥当性は高いと考える。
  - ・ カンボジア政府保有株式の売却方針について、出資後も継続してモニタリングすること。
  - ・ 取締役の派遣にあたっては、株主たる JICA との利益相反に留意し、適切な対応策を構築すること。

2. (審議事項)「フィリピン共和国マニラ首都圏西地区上水道無収水対策事業」審査  
後審議

- ・ 本事業は、マニラ首都圏西地区において、無収水対策に資する上水道施設の整備・更新等を行うことにより、配水ロスの少ない効率的な水供給の実現を図り、同地域の上水道サービスの改善が期待される重要な事業である。
- ・ マニラ首都圏では水需要の増大が見込まれる中、無収水対策による配水ロスの少ない効率的な水供給の実現が重要であるが、投資回収期間が長い無収水対策事業の実施を確保する上では長期の譲許的資金が必要であり、海外投融資による支援を実施することは妥当と考える。また、技術支援を通じて、本事業のリスク軽減を図ることも重要。
- ・ 水道事業は公共性が高い事業であり、水道料金改定の動向、ポリティカルリスクについて定期的なモニタリング実施していくことが重要。

以 上